

第53回 国民体育大会
かながわ・ゆめ国体
 “おほこほ”
 リハーサル大会
 (関東高校ラグビー神奈川県選手連合)
 5月10日(日)・17日(日)
 ラグビーフットボール
 (運動公園陸上競技場)
 平成10年秋季大会 10月24日～29日

広報 えびな

編集・発行
 海老名市役所 広報広聴課
 〒243-0492
 神奈川県海老名市勝瀬175番地
 ☎ (0462) 31・2111

*この広報は再生紙を使用しています。

「ゆめ」つかみたい



今年開催の「かながわ・ゆめ国体」。海老名市では、ラグビーフットボール競技少年男子の試合が行われます。この競技で厳しい練習を続けている、松為信広さん(まついのぶひろ・大谷在住・桐蔭学園高校2年)がいます。
 写真右でボールをキヤッチしているのが松為さん。187cmの長身を生かし、高く上がったボールを取ったり、スクラムを組む、ロックというポジションで活躍しています。
 ラグビーを始めたのは大谷中学校2年生のときに、ラグビー部が新設されたことがきっかけ。「入部するまで、ラグビーがどんなスポーツか知りませんでした。始めてみるとおもしろく

て高校でも続けようと思いましたが。普通の練習は、筋力トレーニング、持久走やバスマわし、ポジション別の練習など曜日別のメニューが組まれていて、日曜日に練習・公式試合を行うスケジュール。「試合中にボールを持つて走り、相手のタックルをかわしたり、吹き飛ばしたりすると気持ちいいです」と話す松為さん。今年の始めまではレギュラー選手として活躍していましたが、試合中に相手と接触して、肩の筋肉の一部が断裂するケガをしてしまいました。以来治療に専念して、4月にはケガも治り練習を再開しました。同校の加藤監督は松為さんについて、「部内で2番目に身長



▶期待の星、松為さん

5月10日・17日 かながわ・ゆめ国体 リハーサル大会を開催



会場
陸上競技場
運動公園

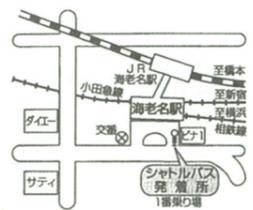
◎競技日程	
開会式	5月10日(日) 午前10時から
準決勝	5月10日(日) 午前11時から 第1試合 午後0時15分から 第2試合
3位決定 決勝	5月17日(日) 午前10時30分から 午前11時45分から
閉会式	5月17日(日) 午後1時から (予定)

が高く、体力的にも恵まれています。おとなしい性格がプレーにも表れているので、もっと荒々しい突進を見せてほしい」と話しています。
 「今年の目標は、多くの試合に出場して、インターハイで上位になることです」と力強く話す松為さん。桐蔭学園は県内屈指の実力校。チームが丸となって戦えば、全国制覇も狙えます。また、6月には国体選手の選考があるので、選ばれる可能性も残っています。これからも、大好きなラグビーをずっと続けていきたいという松為さん。前へ前へ突き進んでいってほしいです。

5月10日・17日 いよいよリハーサル大会

かながわ・ゆめ団体の開催を前にして、5月10日(日)と17日(日)に、リハーサル大会が海老運動公園陸上競技場で開かれます。この大会は、大会運営の習熟を図るためにラグビー、フットボール大会を招致して、本番と同様に運営を行います。リハーサル大会として行われるのは、第46回関東高等学校ラグビーフットボール大会神奈川県予選大会です。これは、県内35の高校がトーナメント方式で勝ち抜き、優勝チームを決める大会で、海老で行われるのは、その大会のうち、準決勝2試合(5月10日)と、決勝および3位決定戦(5月17日)です。

当日は会場周辺で、市観光協会、郵便局、障害者団体連合会、運動員商協同組合などによる出店も予定されています。リハーサル大会当日には、海老駅から無料シャトルバスが運送されますので、ご利用ください。また、会場周辺は混雑しますので、自家用車の来場はご遠慮ください。



(注意) シャトルバスは途中下車できません

(表1) 無料シャトルバス時刻表

5月10日(日)		5月17日(日)	
時	海老名駅発	時	海老名駅発
7	30	7	30
8	00 30	8	00 20 40
9	00 30 40 50	9	00 20 40
10	00 50	10	00 40
11	00 10 20	11	00 10 20 50
12	10 40	12	00 30 40
13		13	00 30
14		14	00 40
15		15	00 20 30



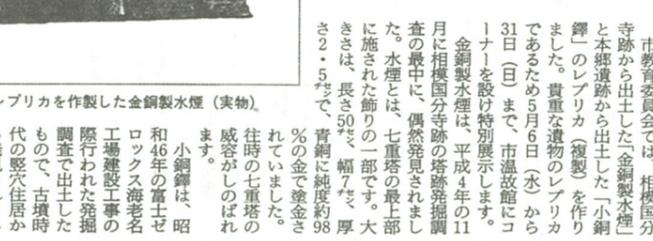
熱戦が展開されます

かながわ・ゆめ団体は、多くの市民の方々が参加し、大会運営に携わっています。式典で演奏するのは、式典アシスタントの池田由美子さん、塩川美代子さん、石川知美さん、武典アナウンサーの林千春さん、太田裕子さんの林千ケナフの種を配布します。ケナフは、木材に代わる紙の素材として注目されています。

吹奏楽隊・合唱隊合同練習
私たちがも参加します!
リハーサル大会の開会式・閉会式での音楽を担当する、市内中学校吹奏楽部と、合唱のボランティアの方々による、合同練習が4月4日、海老名運動公園総合体育館で行われました。

貴重な遺物をレプリカに

金銅製水煙と小銅鐸



市教育委員会は、相模国分寺跡から出土した「金銅製水煙」と「小銅鐸」のレプリカ(複製)を作り、貴重な遺物のレプリカであるため5月6日(水)から31日(日)まで、市温故館にコーナーを設けて特別展示します。

金銅製水煙は、平成4年の11月に相模国分寺跡の塔跡発掘調査の最中に、偶然発見された。水煙とは、七重塔の最上部に施された飾りの一部です。大きさは、長さ50cm、幅7cm、厚さ2.5cmで、青銅に純度約98%の金で塗金されています。

交通安全を切実な課題として、平成9年中の交通事故件数は66件で前年より40件減少し、死者の数は3人で前年より1人減少しています。

市内の交通事故死者数の減少傾向は、交通安全の増加によるものと見られます。交通安全対策を積極的に実施し、死亡事故防止に効果をあげた全国の市区町村に、本市も顕著な成果を挙げました。本市と鎌倉市の2市が受賞しました。

市では、ごみの減量化、資源の再利用、ごみ焼却の際に発生するダイオキシン抑制のため、4月から使用済みペットボトルの分別回収を全域で開始しました。

4月8日(水)に第1回目の回収を、中新田、さつき町、河原口、中央3丁目、上郷、下郷で行い、約1.2トンのペットボトルを集めました。今後は、5月、6月の回収を見込んでいます。

「生きがい事業団」の設立のお知らせ
市は今年4月「海老名市生きがい事業団」を設立しました。生きがいを促進し、高齢者が生きがいと能力を生かし、地域社会に積極的に貢献できるように就業機会を提供するが目的です。

①事業団は、神奈川県、海老名市の助成を受けて運営されます。
②高齢者への就業の機会等の提供を通じて健康づくり、仲間づくりを進めます。
③高齢者が主役となり、家庭、事業所、公共団体から受注した仕事を、活動力から受注する。市民一人ひとりが交通ルール、マナーを順守した結果で交通安全功労市として受賞を契機に、座間警察署の指導のもと、交通安全ゼロを目指して今後も皆さんのご協力、ご理解をいたします。交通安全対策を推進します。

伊勢山は昔からタヌキのよき生息地だった。昭和六十二年五月中旬、地元的神守利治氏は、自宅と伊勢山との間に流れる小溝の土管の中にくぐり、四匹の子タヌキを発見した。親の夫婦タヌキと見せ、結局七匹の子タヌキ一家が土管の安住の場所を見つけた。これは真の伊勢山の一部が宅地造成され住居が失われたためだった。神守さん一家はタヌキ夫婦に「タヌキちゃん」と愛称をつけ、在宅地で子育ては大変だったが、毎日食事でも残ったパン、ハンモックなどを与え、やがて居間でも寝顔越しに家の中をのぞき込むようになった。七月に入ると子タヌキは体長四十七センチに成長し、新聞に書かれたテレビで放映されるほどの人気者になった。

伊勢山の東麓から南にかけての裾を、道路に平行して逆川用水が流れている。それにコンクリートの橋が一つ架かっている。この橋は、かつての階段を上った火災が地下に層をなしている所である。白く風化した火山灰が地表にさらさら現れている所もある。

入口の橋から約六十メートル南方の山肌が、わんぐり大きく凹んでいる。篠竹で道路から見えないが、これは明治期、地元の食糧安松という方が大山街道沿いの田を埋め居を構えようとして築いた跡である。氏は、ここで大山参りなどの旅人相手に酒屋を営んだが、田んぼの中へ出店したことから屋号を「田中屋」とした。後にこの店を手放し、北方の元屋敷へ移ったが屋号はそのままだった。昭和三十四年、子息政信氏が町議会議員に立候補した折「氏名でなく田中屋の方が通りがよいから田中屋と届出たら」との意見も出たという笑い話もある。

思いをつくままに
幸か不幸か、家計のやりくりは、ほとんど経験がありません。が、苦勞のほどは、よくわかります。

家計と財政
今、タンス貯金という言葉をよく耳にします。買いだめから、景気がよくなるらない、とも言われますが、よく考えてみます。今、

まで、かなり裕福な生活をしてきたわけですが、将来を考えると、行く先不透明というところでは、貯金に専念、購買力の上昇は必ず期待できないと思います。

今、市政を担わなければならないという状況で、家計のやりくりの経験はないにしても、健全な財政の維持は、必要不可欠だと考えます。家計にしても、財政にしても、あまり豊かでない時に、必要なら、必要なら、大きな買い物や予定されている、支出を抑えようとするのが常識。そして残ったお金をどのように有効に使おうかと頭をひねるものだと思います。

市では、ごみの減量化、資源の再利用、ごみ焼却の際に発生するダイオキシン抑制のため、4月から使用済みペットボトルの分別回収を全域で開始しました。

4月8日(水)に第1回目の回収を、中新田、さつき町、河原口、中央3丁目、上郷、下郷で行い、約1.2トンのペットボトルを集めました。今後は、5月、6月の回収を見込んでいます。

分別回収の様子
海老名市資源協同組合(須藤賢理理事長)が、資源回収のため、ペットボトルを出すと、プレス機でつぶし、キャップを外し水でよく洗います。ペットボトル以外のものは袋に入れておきます。皆さんのご協力をお願いします。

伊勢山あれこれ
伊勢山は国分にあつて市が自然公園に指定している所である。その名の由来は、山内に俗に「お伊勢の宮」と呼んでいる伊勢山大神宮という小社があることによる。山といっても独立した山ではない。国分の東部を南北に走る座間丘陵(相模横山)の一部に属している。標高は五十メートル余、杉や雑木に覆われ東方や南方から見ると丸い山に見える。

伊勢山あれこれ
公園の最高地点近くの平地にベンチが置かれている。その西側に形や崩れ方が異なる、塚上といわれる墳丘がある。塚上に幅二十三センチ、高さ五十四センチの墓塔が建っている。正面に「月山長海上座位」と刻み、八月十五日(刻み)に刻み、幕末頃のものらしい。

伊勢山あれこれ
平安時代つと未法思想といって釈迦入滅後五十六億七千万年つとこの世は末世となる。その時弥勒菩薩が現れて渡される。その時期に合わせるため、自ら食を断つて我が身を乾燥の条件に合わせ、生きながら墓に入り節を抜いた竹を挿して空気を通わせ、経を誦して生命を断つという修行の一部が行われた。経を誦して生命を断つといわれるそのミイラは、山形県が最も多く六体以上という。私は山形県の大田坊という寺で、真如海上入という人のミイラを拝んだことがある。

あなただけの意見をお聞かせください
市では、環境基本条例制定に伴い、環境の保全および創造に関する施策を総合的に推進するために、海老名市環境基本計画の策定を決定しました。

計画の策定にあたり、市民の皆さんから広く意見を聞くため、海老名市環境基本計画策定懇話会を設置します。

懇話会の委員は、一部公募により募集します。募集の要項は、懇話会事務局までお申し込みください。

募集要項：市内在住の20歳以上、環境に関する考え方や意見をお持ちの方(公務員など公職にある方を除く)
募集人員：5人以内
募集方法：応募用紙(市役所環境課)に用意してあり、郵送でも受け付けています。
締切日：6月1日(月)
郵送の場合は、当日の消印まで有効
選考方法：選考委員会を設置し、選考委員がレポートの内容を審査を行い、6月30日までに選考を行います。選考の結果は全員に直接通知します。
謝礼：5千円程度(懇話会の出席1回につき)。懇話会の開催は、年3回程度(2年間6回を予定、原則として平日に開催します)。
問い合わせ：環境基本課(内531・532)

都市マスタープラン説明会開催
「ゆとりと活力のあるまち」を目指して平成6年度から取り組んできた、都市計画の基本方針である都市マスタープランがまとまりました。5月19日(火)から市内10会場で同プランの説明会を開催します。ぜひご参加ください。

また、マスタープランの内容を紹介した冊子「都市マスタープラン概説」を作成しました。都市計画課、説明会の会場となる施設、市図書館、有馬図書館に配布してありますので、ご自由にお持ちください。

問い合わせ：都市計画課都市政策担当(内613・614)

日	時 間	地区区分	場 所
5月19日(火)	午後6時30分～8時30分	南部地区	杉久保コミセン
5月20日(水)	午後6時30分～8時30分	中央地区	下今泉コミセン
5月21日(木)	午後6時30分～8時30分	北部地区	上今泉コミセン
5月22日(金)	午後6時30分～8時30分	南部地区	本郷コミセン
5月23日(土)	午後2時～4時	中央地区	園分寺文化センター
5月23日(土)	午後6時30分～8時30分	北部地区	柏ヶ谷コミセン
5月24日(日)	午後2時～4時	南部地区	門沢横コミセン
5月24日(日)	午後6時30分～8時30分	中央地区	園分コミセン
5月25日(月)	午後6時30分～8時30分	南部地区	社家コミセン
5月26日(火)	午後6時30分～8時30分	中央地区	中新田コミセン

※表中の地区区分
北部地区：一ツ谷、東柏ヶ谷1～6丁目、上今泉、上今泉1～6丁目
中央地区：上郷、下今泉、上今泉、中央1～3丁目、園分南、北1～4丁目、園分、望地1～2丁目、河原口、さつき町、中新田、大谷、園分寺台1～5丁目、浜田町
南部地区：杉久保、上河内、中河内、本郷、社家、今里、中野、門沢横

伊勢山あれこれ
公園の最高地点近くの平地にベンチが置かれている。その西側に形や崩れ方が異なる、塚上といわれる墳丘がある。塚上に幅二十三センチ、高さ五十四センチの墓塔が建っている。正面に「月山長海上座位」と刻み、八月十五日(刻み)に刻み、幕末頃のものらしい。

伊勢山あれこれ
平安時代つと未法思想といって釈迦入滅後五十六億七千万年つとこの世は末世となる。その時弥勒菩薩が現れて渡される。その時期に合わせるため、自ら食を断つて我が身を乾燥の条件に合わせ、生きながら墓に入り節を抜いた竹を挿して空気を通わせ、経を誦して生命を断つという修行の一部が行われた。経を誦して生命を断つといわれるそのミイラは、山形県が最も多く六体以上という。私は山形県の大田坊という寺で、真如海上入という人のミイラを拝んだことがある。

伊勢山あれこれ
公園の最高地点近くの平地にベンチが置かれている。その西側に形や崩れ方が異なる、塚上といわれる墳丘がある。塚上に幅二十三センチ、高さ五十四センチの墓塔が建っている。正面に「月山長海上座位」と刻み、八月十五日(刻み)に刻み、幕末頃のものらしい。

伊勢山あれこれ
公園の最高地点近くの平地にベンチが置かれている。その西側に形や崩れ方が異なる、塚上といわれる墳丘がある。塚上に幅二十三センチ、高さ五十四センチの墓塔が建っている。正面に「月山長海上座位」と刻み、八月十五日(刻み)に刻み、幕末頃のものらしい。



北部公園の整備が本格化

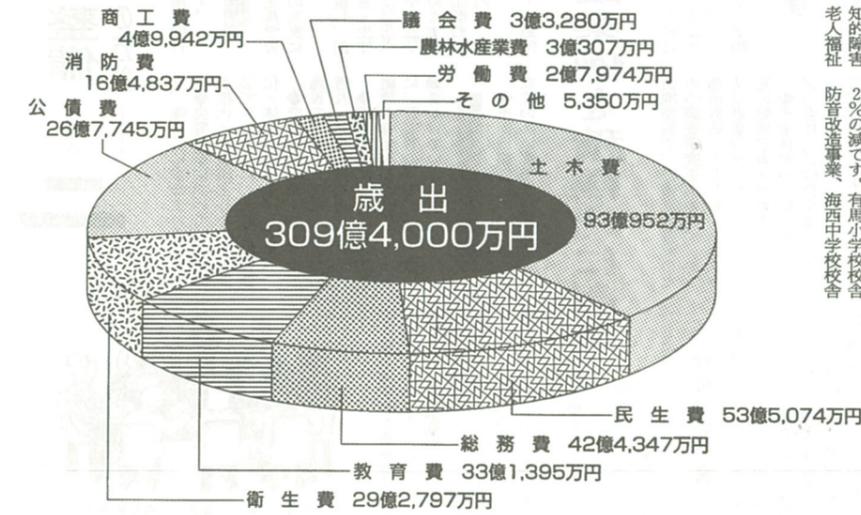
個性豊かで

北部公園事業など推進

歳出

歳出予算の総額は、歳入予算と同額の309億4千万円です。目的別では、土木費が、93億952万円、全体の30・1%と最も大きな割合を占めています。前年度との比較では、0・3%増です。今年度は、前年度から続き北部公園整備事業をはじめ、市道3号線道路改良事業、鉄道関連整備事業、都市排水路・都市下水路整備事業（仮称）北

施設入所措置事業、社会福祉施設整備補助事業などが、対象人数の増加により、前年度に比べて増額となっています。3番目は総務費で、42億4千万円、全体の13・7%にあたります。前年度と比べると18・3%の減です。これは、前年度で本郷ミニシティセンター1、文化会館駐車場・原動機付自転車保管場の用地買収や、国分寺宮文化センターが完成したことによるものです。4番目は教育費で、33億1千万円、全体の10・7%にあたります。前年度と比べると26・2%の減です。有馬小学校舎防音改修事業、海西中学校校舎



活力にみちた地域社会へ



21世紀を担う子供たちに「ゆとりと活力のあるまち」を

平成10年度

予算、施政方針と主な事業

着実な行政運営を 予算の概要

平成10年度当初予算が市議会定例会で可決されました。予算総額は、一般会計と3つの特別会計を合わせて、44億1千50万円で、前年度と比べて7億9千200万円、率で1・7%の減になりました。平成10年度は海老名市第三次総合計画が策定されて8年目の年です。21世紀を目前に控えて「ゆとりと活力のあるまちえびな」を目標に、政策運営を着実に進めていきます。

平成10年度各会計別予算

会計名	平成10年度	平成9年度	伸率
一般会計	3,094,000	3,258,000	△ 5.0%
国民健康保険事業	500,895	434,567	15.3
下水道事業	497,375	496,479	0.2
老人保健医療事業	398,780	381,214	4.6
計	4,491,050	4,570,260	△ 1.7

△は、マイナス

一般会計

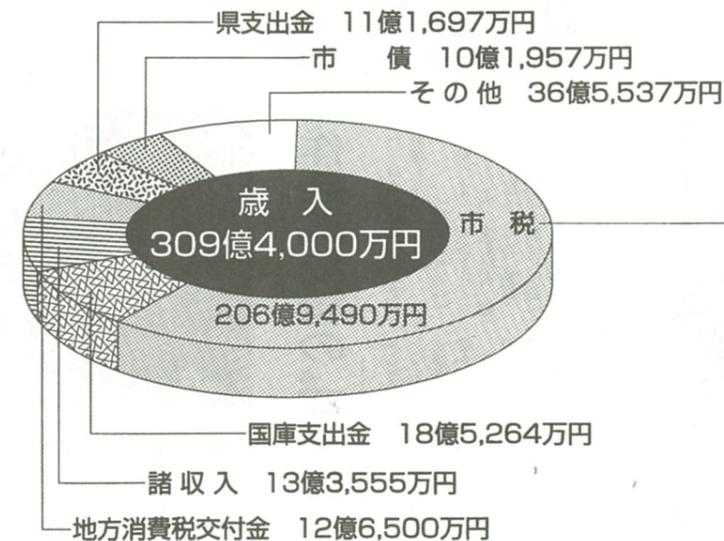
総額は前年度比5%減

歳入

一般会計歳入総額は、309億4千万円で、前年度と比べると5・0%の減になりました。歳入の66・9%と大きな割合を占めているのが市税の206億9千400万円です。前年度と比べて0・8%の増となりました。このうち、法人市民税は、依然として低迷を続けている景気の影響を受けて減収、また、個人市民税も、景気対策のための特別減税の実施により減収となりました。しかし、新築戸建の増加や、企業の設備投資による償却資産の増収が見込まれるため、全体としては、わずかながらも増収となりました。

市税の主な内訳は、個人市民税：82億9千600万円（対前年度比：0・9%減）、法人市民税：19億8千880万円（同）、固定資産税：85億1千200万円（同）、市たばこ税：7億775万円（同）、市計画税：11億3千120万円（同）です。

歳入の内訳は、市税：206億9千400万円、国庫支出金：18億5千264万円、諸収入：13億3千555万円、地方消費税交付金：12億6千500万円、県支出金：11億1千697万円、市債：10億1千957万円、その他：36億5千537万円です。



区分	平成10年度	平成9年度	伸率
個人市民税	829,631	836,753	△ 0.9%
法人市民税	198,088	209,888	△ 5.6
固定資産税	851,263	816,016	4.3
軽自動車税	6,045	5,879	2.8
市たばこ税	70,775	73,388	△ 3.6
特別土地保有税	567	2,948	△ 80.8
都市計画税	113,121	108,361	4.4
計	2,069,490	2,053,233	0.8%

△は、マイナス

あなたの税金 このように使われます



※高さで割合を示しています。
市民1人が納める市税 = 180,622円
(1月1日の人口114,576人で算出)

特別会計

国民健康保険事業

国民健康保険事業は、加入者が病気をやけに備えて、お互いに助けを目的に生まれた事業です。職員の健康保険（健康保険組合や共済組合など）に加入している方や、生活保護を受けている方などを除き、市内に住んでいる方は、国民健康保険に加入しなければならぬことになっています。

下水道事業

下水道事業は、都市の生活環境を衛生的で快適な生活環境の確保を図るとともに、海・河川・湖沼などの公共用水域の水質保全を目的に行われています。市では、昭和48年3月から下水道事業に着手し、その後の人口増加による市街地の拡大と、流域下水道の整備促進に対応して、これまで6回にわたって認可区域を拡張しました。現在は、国の下水道整備緊急措置法に基づき第8次下水道整備7か年計画（平成8～14年度）を受けて、平成12年度末までに市街化区域内をおおむね整備する方針で、事業を進めています。

老人保健医療事業

老人保健医療事業は、お年寄りの医療費については、国・県・市・本人のほか、医療保険制度の各保険者が共同で負担するもので、国民が健康で安心して暮らせることを目的として行っています。

今年度の予算総額は、50億895万円で、前年度に比べて15・3%の増となっています。

下水道事業は、都市の生活環境を衛生的で快適な生活環境の確保を図るとともに、海・河川・湖沼などの公共用水域の水質保全を目的に行われています。市では、昭和48年3月から下水道事業に着手し、その後の人口増加による市街地の拡大と、流域下水道の整備促進に対応して、これまで6回にわたって認可区域を拡張しました。現在は、国の下水道整備緊急措置法に基づき第8次下水道整備7か年計画（平成8～14年度）を受けて、平成12年度末までに市街化区域内をおおむね整備する方針で、事業を進めています。

この結果、平成9年度末の整備率は、1千597戸で、普及率は約85・5%となる見込みです。

今年度の主な工事は、幹線工事では下河内幹線、枝線では柏ヶ谷・望地、国分南三丁目及び四丁目、大谷、勝瀬、杉久保

老人保健医療事業は、お年寄りの医療費については、国・県・市・本人のほか、医療保険制度の各保険者が共同で負担するもので、国民が健康で安心して暮らせることを目的として行っています。

55歳以上70歳未満の方と、65歳以上70歳未満の障害（1～3級）をお持ちの方で、現在6千350人、去年に比べて6・1%増えています。

老人人口の増加に伴って、年々医療費は高くなり、重要なお年寄りの医療費削減が重要な課題となっています。

今年度の予算総額は、39億8千700万円で、前年度に比べて4・6%増となっています。このうち、医療費は、39億5千400万円で、前年度比で4・7%増です。



檀浦 敦史ちゃん 1歳

まんまの後はしっかり歯みがき。えらいでしょ。(国分南、環浦貴治・かおりさんの長男)



青木 里奈ちゃん 1歳1カ月

動物が大好きな私。早く動物園に行きたいな。(杉久保、青木一彦・なつきさんの長女)



村山 美樹ちゃん 1歳

ひとりり階段も上ってしまう、とてもおてんばさんです。(杉久保、村山隆秀・裕貴子さんの長女)



室岡 淳希ちゃん 1歳1カ月

パパがお休みの日はベツクリ。ママはチョッピリさみしいよ〜。(中野、室岡政美・由美さんの長男)

まんまる赤ら顔



▲手料理で楽しいひととき

4月14日、柏ヶ谷コミセンで行われた「ひとり暮らし老人のついで」で、お年寄の方々が市福祉推進員さんの手料理の前に楽しいひとときを過ごした。

フキアトピックス



▲火災に負けない若い心▲

4月12日、市役所駐車場で、消防新入団員訓練式とポンプ自動車性能検査が行われ、消防署員の礼式指導に新入団員のまなざしも真剣。



▲がんばれ！少年少女たち▼

4月5日から運動公園ほかで少年少女スポーツ大会(全6種目)が開催。小・中学生たちの熱戦の火ぶたが切って落とされた。



ソフトボールで全国優勝
市内在住の中村翠さん(写真右)と鈴木由香さん(写真左)が主力メンバーの厚木商業高校ソフトボール部が、全国高校女子ソフトボール選抜大会で全国優勝を果たした。



▲市立青少年会館がオープン

県立青少年会館が、改修工事を経て市の施設に。明るい雰囲気のあるロビーに、利用者の方々の会話も弾んでいました。

楽しい仲間

市南部地区少年野球チーム



交流試合後、仲良く記念撮影

台湾チームと交流

礼儀の大切さ肌で知る

市南部地区(社家・門沢橋小学校)の少年野球チーム、6年生中心の子供たちが、毎年春休みに、台湾に遠征して、交流試合を行っています。一行の取りまとめ役をしている長谷川正春さん(社家在住)にお話をうかがいました。
◇今年で6年目だそうですね。
◇この遠征を通じて視野を広げ、海外のことも目を向ける姿勢を持って欲しい、ほぼ年1回行っています。
◇なぜ、台湾へ？
◇台湾は、野球が盛んで、少年野球チームもたくさんあります。また、礼儀に厳しいところ。彼らを見れば、礼儀を重んじる社会の現実を、肌で感じとってこれればよいなと。今回は2つの地区で5試合を行い、2勝2敗1分でした。

▼ゆめ国体で、ラグビー少年男子神奈川代表チームの監督が、今回取材した桐蔭学園高校の加藤さん。県代表チームについて「チ

編集後記

ームとして良い感触を得ています。秋までには優勝を狙えるチームに仕上がると「思います」と頼もしい答えが返ってきました。(笹)

◇日本と台湾チームとの違いは、日本の子は、勝負にこだわらずに、ニコニコ。逆に、台湾の子は、負ければすぐくやしがる。こちらは、そのへんも学んでほしいのですが、でも、あちらの指導者は「野球をとても楽しんでますね」と、好感を持ってってくれています。
◇試合以外の交流は、地元の小中学校で、給食の時間などを一緒に過ごします。言葉は通じなくても、子ども同士は、すぐ打ち解けてしまいます。
◇費用の面はどのようか。
海外ですと、お金はかかりますが、負担が少しでも軽くなるように、空き缶の回収をして、資金の足しにしています。
◇今後も続けますか。
◇できる限り続けたい。多感な時期を迎える子供たちが、立派に成長するために、この経験が必ず役立つと信じています。